

研究

- 遊びの体験を通して異年齢集団における少年リーダーの養成方策の研究
- 郷土理解を深めるための地域の伝統の継承・発展を図る事業の研究

② 期間、人員、時間数

市町村	開設期間	人	員	時間数
飯野町	昭和53年6月～昭和54年2月	小学校5・6年生	59名	35時間
須賀川市	昭和53年7月～昭和53年8月	小学校5・6年生	40名	30
白河市	昭和53年7月	小学校5・6年生	30名	30
喜多方市	昭和53年5月～昭和53年12月	小学校5・6年生	58名	36
只見町	昭和53年6月～昭和54年3月	小学校5・6年生	53名	40
原町市	昭和53年8月～昭和53年11月	小学校5・6年生	40名	30
いわき市	昭和53年7月～昭和54年2月	小学校5・6年生	40名	40

5 青年団体指導者中級研修会

(1) 趣 旨

青年団体の指導者として、団体の運営に必要な専門的知識、技術及び態度について研修し、その資質向上に努め、もって青年団体の健全な育成に資することを目的とする。

(2) 期日、会場、参加者等

- ① 期 日 〔Ⅰ〕 昭和53年7月19日～7月22日
〔Ⅱ〕 昭和53年12月14日～12月16日
- ② 会 場 〔Ⅰ〕 福島県海浜青年の家
〔Ⅱ〕 国立磐梯青年の家
- ③ 参加者 〔Ⅰ〕 26名
〔Ⅱ〕 29名
- ④ 対 象 市町村における青年団体指導者研修を修了した者、及び青年団体活動について3年以上の経験を有する者

(3) 講師・助言者

〔Ⅰ〕		〔Ⅱ〕	
福島県文化センター 総務部長	丹野清栄	福島大学教授	徳田安俊
前鏡石町公民館長	大河原甲子良	須賀川地方ユネスコ協会副会長	内山邦夫
相馬市教育委員会 社会教育主事	門馬秀夫	福島県立須賀川養護学校 郡山分校長	堀川清通
郡山市教育委員会 社会教育主事	土田 功	猪苗代町教育委員会 社会教育主事	星 滋
福島県教育庁 社会教育課員		福島県教育庁 社会教育課員	
福島県教育庁 相双教育事務所員			
福島県海浜青年の家所員			

(4) 研修内容

- ① 「青年団体活動の意義」
- ② 「青年団体活動の現状と問題点」

- ③ 「団体活動の企画と展開」
- ④ 「ふるさとづくりとボランティア活動」
- ⑤ 「青年団体における広報活動」
- ⑥ 「青年団体の組織」
- ⑦ 「青年団体指導者の役割」
- ⑧ 「青年の生きがい」
- ⑨ 「青年団体における財務」
- ⑩ 「自己を見つめる」
- ⑪ 「社会参加について考える」
- ⑫ 「国際化社会における青年の役割」
- ⑬ 「体育・レクリエーション」

6 青年国内研修

(1) 趣 旨

勤労青年の代表を県外に派遣し、教育・文化・産業について、その状況を調査研究するとともに、現地青年との交歓をとおして交流を図り、広い視野に立って郷土振興のための地域活動を推進できる青年リーダーの育成に資する。

(2) 実施要領

- ① 実施主体 福島県教育委員会
- ② 協 力 兵庫県・滋賀県教育委員会
- ③ 派遣先・人員 神戸市・福崎町・大津市・竜王町
青年団体活動班 6名
青年学級・教室活動班 7名
- ④ 研修期日、内容

	事前研修	現地研修
期間	7月27日～29日	9月29日～10月4日
場所	国立磐梯青年の家	兵庫県・滋賀県
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ○福島県のあらまし ○福島県の青少年教育と青年活動の状況 ○研修地に関する情報収集と事前研究 ○班編成と役割分担 ○青年学級・教室活動上の諸問題 ○青年団体活動上の諸問題 	<ul style="list-style-type: none"> ○青年教育の現状に関する調査研究 ○研修主題にもとづく各自の調査研究 ○現地青年との情報交換 ○社会教育施設の見学 ○産業・文化活動の状況調査

⑤ 参加資格

下記要件を備える者で、市町村教育委員会教育長及び所轄教育事務所の推薦を受けた者

- ア 県内に居住する18歳～25歳未満の勤労青年
- イ 青年学級・教室・青年団体・グループにおいてリーダーの立場にあり、将来、郷土にあって、研修の成果を積極的に生かしようとする者
- ウ 過去において、国内研修に参加していない者

⑥ 研究主題

- ア 青年学級・教室における学習活動のあり方
- イ 青年団体の組織・運営・事業のあり方